

真備部会の報告

逃げ遅れゼロに向けた取組

■要配慮者マイ・タイムライン[作成ヒント集:中国地整(作成)・倉敷市]

みんなで避難を考える

地域連携型
要配慮者マイ・タイムライン
(個別避難計画)

～作成ヒント集～

いざという時は、
みんなで声をかけあって
避難しよう！

マイ・タイムラインとは:
災害が起こりそうなきど、自分がいそ、なにをするか書きしに行動計画

・洪水からの「逃げ遅れゼロ」を実現するためには、避難に支援が必要な方をいかに安全な場所へ避難させるかが重要

・被災後、倉敷市真備町地区では要配慮者を中心に、隣近所をはじめとした地域の方々や、福祉事業所職員等が集まり、みんなで避難について考えるため地域連携型のマイ・タイムラインの作成を進め、取り組みを加速化するため、10月8日に作成ヒント集を公開

・「要配慮者マイ・タイムライン」の作成過程を題材としたミニドラマを作成。作成ヒント集の作成イメージを伝えるもので、これをきっかけに要配慮者マイ・タイムラインの作成を推進

- 【ヒント集のポイント】**
- どうやって声をかけてあつまったのか事例を紹介
 - 要配慮者マイ・タイムライン作成にあたって、話し合う内容のポイントを解説
 - 実際にマイ・タイムラインを作成された方の声を掲載



■LINEを活用した被害情報の共有[中国地整・岡山県・倉敷市]

・平成30年7月豪雨を経験した方々の声として『避難時に被災状況の把握に苦慮した』という声が多く寄せられたことから、梅雨・台風シーズン前となる6月と9月に地域住民参加のもとLINEを活用した、大雨時の被災状況等を地域全体で共有を国・県・市・地域住民が連携して実施

・大雨により高梁川及び小田川の水位が上昇し、氾濫危険水位を超過していくという想定の下、地域住民が現地の状況を撮影・LINEで送信したものが、Google マップに自動的に表示されるシステムを活用し、地域の状況を把握し、住民は避難ルートの検討を、行政は被害状況の把握や、復旧方法の検討などを行った



■地域連携の河川管理[中国地整]



- ・河道の樹林化抑制に向け、小田川河川敷の一部区間において、箭田地区まちづくり推進協議会と国土交通省が連携しマレットゴルフ場を整備し、週末を中心にマレットゴルフを楽しみながら河川管理を実施
- ・令和2年度から、地域参加型の持続可能な河川敷の活用・管理方法を連携して検討（草刈りの回数や草踏み（重機や人）の回数等の違いによる植生の違いを実験）



小田川河川敷でのマレットゴルフ

小田川河川敷での繁茂抑制の実験

■真備緊急治水対策の記録[中国地整・岡山県]



- ・11月18日「土木の日」に、昨年に引き続き、建設業者の活躍の記録を作成
- ・今回の記録は「インフラメンテナンス」の写真家山崎エリナさんに監修をいただき、普段見ることのない工事現場の様子や現場で活躍する作業員の姿を見ていただく
- ・冊子は当事務所や岡山県備中県民局、岡山県建設業協会にて配布



地域を支える



現場の力

